大阪港第七回港湾セミナー

大阪港第七回港湾セミナーは、五月十九日十三時三十分より、「大阪港湾労働者福祉センター三階」において、加盟単組や関係諸団体を含め、総勢一三〇名の参加で開催された。

講演では、岡山大学大学院・社会文化科学研究科、津守貴之教授から「スーパー中枢港湾プロジェクトと国際コンテナ戦略港湾政策～二つの港湾政策が持つ意味～」「港湾労働組合の今後の対応の在り方」について、①近年の港湾政策については、国が主体性を以って行っているが、その背景には日港協の弱体化を指摘する。その為、港運事業者及び港湾労働者が主役になっていない。神戸・横浜での自動化ターミナルの「社会実験」と称するのが、最たるものである。まさに、日港協が主体性を以って取り組むべき事案である。②港湾労働組合が今こそ主体性を発揮して、港湾の主体性を回復していかなければならない。その為には現場からの行動を興し、港湾荷役作業共同化体制の構築を推進し、その結果、現場作業の波動性対応の強化に繋がると考える。優れた港湾労働組合の存在による港運事業者の現場力維持・強化とそれに基づく事業者間競争の適正化を行い、業界秩序の改善と成長を促すことに期待する。と講演を行った。

セミナーの最後には、全国港湾糸谷中央執行委員長より「一八春闘の中間総括」と題し、春闘の継続課題や前進した課題などの報告を頂き、盛会裏に終了した。

港湾セミナーは、益々多様化している港湾物流環境に対応する組合員育成には、必要不可欠であり、組織力向上に繋がる知識を身に着けるのには好い機会であり、より多くの組合員の参加が望まれます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

辺野古土砂搬出反対 全国連絡協議会

第5回記念総会!!

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会の第五回総会が、二〇一八年五月二十七日(日)に沖縄県沖縄市(米軍嘉手納飛行場近く)の市民会館で開催されました。

本総会には、辺野古海上の埋立てに使用される「岩ズリ」の搬出が予定される九州や四国など各県、各地域から、二〇〇名を超える参加者が結集しました。総会冒頭、沖縄の歌、踊りなど、琉球文化、歴史を交えながら反戦・反基地運動を広く展開する「海勢頭豊」さんのコンサートで幕をあけました。「琉球処分、敗戦、米軍統治下時代、沖縄本土復帰、現在と、沖縄県民が経験した政治差別は今もなお、続いている。それどころか、安倍自公政権によって、より酷くなっている」と、訴えていました。

本総会では、各県単位の活動報告が行われました。その中で、「全国港湾からの報告」として、特別報告の要請があり、糸谷委員長の代務として、辺野古対策事務局諸見が出席した次第です。全国港湾からは、「①全国港湾が辺野古対策委員会を設置した経緯、②労使間の問題として取上げた経緯、③これまでの足り組み」として、三分割で報告を行いました。その中で、直近の取り組みとして、昨年十二月に発信した声明文「辺野古新基地建設強行に反対する声明」と、全国港湾の構成組織である沖縄港湾が、地元の港湾労働者の立場、全国の港で働く仲間を代表して「沖縄県内各地の港を辺野古新基地建設の為に使用許可を出した事に対して、沖縄県に抗議を行い、直ちに使用を中止させるよう申し入れた」等の報告を行いました。また、労使間の問題として、事業者団体に態度表明をしているが、現時点で辺野古新基地建設に係る港湾作業の受注等の話は聞こえていないと報告しました。

今年七月頃にも、辺野古海上に埋立て土砂が本土各地から搬入されるとの報道もありますが、港湾作業に影響が出てくるようになれば、全国港湾として具体的にどのような対応、対策が取れるのかなど、対策委員会で情報の収集を進めながら地元港湾と連携して取り組んでいく事を報告しました。

（全国港湾辺野古新基地反対対策委員会
事務局　諸見　力）

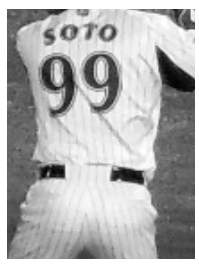
リレー随筆 瑠璃色の『ハマッ娘』

～ベイスターズ女子②～

昨年十一月発行の二九六号のリレー随筆、瑠璃色の「ハマっ娘(こ)」ベイスターズ女子の第二弾になりますが、日本のプロ野球は、つい最近開幕したと思っていましたらを、セ・パ交流戦がいよいよ始まりました。二〇〇五年から数えて今年で十四年目を迎え、通算成績はパ・リーグ九八一勝、セ・リーグ八七二勝（五五引き分け）となっており交流戦でリーグ内トップになった球団のペナントレース優勝確率は五八％に上り、ペナントレースの流れを掴むのは、果たしてどこの球団になるのでしょうか？

交流戦といえば話題になっているロッテのポスターですが、「アンビグラム」（異なる方向からも読み取れるようにしたグラフィカルな文字）を採用してメインポスターは「交流」ですが、逆さから読むと「挑発」と読めます。対戦するセ・リーグ六球団に対しては、ヤクルトには「（燕）飛来」が「苦労（が止まらない）」広島には「赤神（降臨）」が「嫉妬（しちゃう）」中日には「怪物（現る）」が「歓迎（ムード）」阪神には「六甲（熱唱）」が「3 34（の虎ウマ）」DeNAには「浜星（輝く）」が「雲泥（の差）」巨人には「無敵（戦力）」が「得意（ですから）」となっており、セ・リーグ六球団を挑発しています。皆様も見て確認してみてはいかがですか。

今年のセ・リーグ順位は、相変わらず赤色軍団の広島カープが首位を走っていますが、ベイスターズは順当にAクラスと健闘しています。さて、今年ベイスターズの打線がよいのでセ・リーグ終盤は、広島カープと首位を争い優勝となりますかね？



パ・リーグは、意に反し西武ライオンズが首位を走っており、日ハムファイターズが追っていますが、今年は優勝もあり得ると予想します。

ガチガチのベイスターズ女子が職場にいますが、パ・リーグでは西武ライオンズファンでもあります。秋の日本選手権では、ベイスターズとライオンズとの対戦いになったら、どちらを応援するのでしょうか？見てみたい気もします。

先日誘われて、ハマスタに行ってきました。いつの間にか私もベイスターズファンの一角に加えられていました。私が加わると瑠璃色の「ハマっ古」となってしまいますね？

観戦では、スコアボードを観てビックリ、自分の名前を発見（3番・ファースト）何じゃ、目が悪くなってしまったのかとよくよく確認してもネームが「ソト」となっており、ホットになってしまいました。これでは、やはりベイスターズファンにならざるを得ないなと思い、早速背番号99グッズを購入しようと思います。（次号は、片柳委員です。乞うご期待）

働き方改革反対 緊急職場集会

安倍内閣が今国会の最重要課題に掲げる「働き方改革関連法案」を強行採決することが濃厚となった。日本海地区港湾は断固反対する緊急職場集会を各港毎で約一一〇〇名規模の職場場集会を開催した。

厚生労働省の労働時間調査のデータ改ざん問題に端を発し、政府の国民に対する説明責任は出来ていません。この法案は、「高度プロフェッショナル制度創設・裁量労働制対象業務拡大」は、残業代ゼロで働かせ放題が可能となります。「残業時間の罰則付きの上限規制」は、過労死残業容認。「同一賃金・同一労働」は、名ばかりの均等待遇など労働者の立場から容認できる内容ではありません。

働く仲間と問題点を共有しあい、声明文を読み上げ「働き方改革関連法案」を廃案にする意思統一を図り、最後に港湾労働者の団結ガンバローで集会を終えました。

新潟港湾五月二十八日
～三十日全港湾・全日通

各地区港湾コラム③ ～日本海港湾～

・検数の三労組朝礼前・昼食時・作業終了後に分け、緊急集会を開催し、総勢四七六名で働き方改革の反対の声明文を読み上げ、全体で反対の採択を行った。

直江津港湾五月二十八日で開催し、全員で働き方改革の反対を確認した。

伏木港湾五月二十八日朝礼前・昼食時・作業終了後に分け、緊急集会を開催しで開催し、総勢三四八名の働き方改革の反対を確認した。

七尾港湾五月二十八日終了後に分け、緊急集会を開催しで開催し、総勢六〇名の働き方改革の反対を確認した。

敦賀港湾五月二十八日港湾関係とトラック職場に分け、緊急集会を開催しで開催し、総勢約一〇〇名で働き方改革の反対の声明文を読み上げ確認した。

舞鶴港湾五月二十八日四五名で開催し、全員で働き方改革の反対を確認した。

境港港湾五月二十八日作業の関係二三名で開催し、その他の組合員に対し代議員を通じて個別で働き方改革の反対の採決を確認した。

（日本海地区港湾
事務局長　小柳浩光）